

**グローバルに活躍する人材を!**

● 第6回・地域職域同窓会責任者会議!

今日2月1日(土)午後1時30分からは、母校内の麗和会館で53名の同窓生が集まり「浦高同窓会・第6回・地域職域同窓会責任者会議」が開催されました。現在、24の地域職域同窓会があり、年1回、会長等が集まり各同窓会の活動や課題を披露するとともに、他同窓会の良い点を吸収する場です。

最初に川野幸夫同窓会会長からご挨拶です【写真①】。

「今日は、お寒中をお集まりいただきありがとうございます。昨年末は嬉しいことがございました。ラグビー部が54年ぶりに花園の全国高等学校ラグビーフットボール大会へ出場したことです。結果は残念ながら1回戦敗退でしたが、浦高らしい戦い方をしてくれたと思います。NHK ニュースウォッチ9などメディアに取り上げられ進学校でありながら、スポーツでも全国大会へ行くということで『尚文昌武(しょうぶんしょうぶ=文を尚(とうと)び武を昌(さか)んにす)』という文武両道を体現してくれました。また、母校創立120周年記念事業でもある同窓会による奨学金財団もメディアに取り上げられ、浦高と浦高同窓会に対する関心が高まっております。そうした中で、杉山校長先生の元で現役生徒の皆さんが頑張ってくれています。これからも皆様の力をお借りしながら、元気な浦高をさらに元気にしてまいりたいと思います。また、今年は役員改選の年でもありますので、地域職域同窓会の中から常任理事のご推薦をいただきたいと思っています。」



続いて杉山剛士校長先生からご挨拶【写真②】。

「昨年4月に浦高校長に着任して以来、浦高は凄いなと思っていましたが、文武両道

の教育の王道を歩みながらも日々進化しています。そして、昨年末のラグビー部の花園出場ではさまざまなお支援をいただきありがとうございました。選手達も決して逃げないというスタイルで浦高らしい試合をしてくれました。特に感動したのは、多くの先輩たちが応援に駆けつけてくれ、浦高生がトライした時にスタンドが総立ちになった瞬間です。正面

スタンドで見えていた人たちからは、スタンド全体が濃紺(浦高ラグビー部カラー)で一色に揺れて見えたとのことでした。この場をお借りしてお礼申し上げます。また、同窓会による奨学金財団設立に対する反響もあります。2月8日(土)に『小学生保護者を対象とした説明会』を開催するのですが、既にメディア等でも取り上げていただき、申し込みも殺到しております。ますます立派でグローバル社会のリーダーになる人材を輩出できる学校にしていきたいと思いますので、これからもご支援ください。」

\* \*

議事の冒頭で今年度・ミシガン大学サマースクールに参加してきた3年生A君【写真③】からは、授業や寮生活などの報告がありました。

「私が選択したのは Mathematics of Decision, Elections, and Games という授業で、主に決定論や選挙における当選者の決定方法、ゲーム理論の基礎を扱うものでした。アメリカ国内向けのカリキュラムであり、17人の受講者の中で海外から参加したのは韓国から2人、日本、ギリシャ、イギリスから1人でした。午前中の講義は比較的容易でしたが、午後のLabでの実習はついていくのに苦労しました。数学的な側面も多かったのですが、基本的には理論中心であり、浦高で学んだ知識が活かされることはあまりありませんでした。ミシガン大には語学を学ぶことを目的としていたわけではなく、英語を使って何ができるのかということであったので、目的は十分に達成することができました。帰国後、他校の生徒と一緒に『国際プレゼンテーション』で『日本の核軍縮』についてのプレゼンを行いました。知識を増やすことや英語を使って言いたいことを構成すること、さらに理論展開することの大切さを学びました。今回のサマーセミナーに参加して僅かながら文化の違いに触れることができたこと、完全な英語環境下で生活した経験は、今後の学習の上での自信に繋がると思うので、この経験を海外留学を含めた今後の進路決定や、ひいては人生設計に役立てていきたいと思っています。ありがとうございました。」



これからの進路について会場のOBから聞かれると、彼はイギリスの大学に進学して、国際的な観点から経済について学びたいとのことでした。流暢な英語での1分間スピーチも含めて素晴らしい報告を伺うことができました。2年目のミシガン・サマーセミナーには、同窓会奨学金財団の助成により5人の在校生が参加することができました。 <つづく>